

泰明だより



Taimei・平成 27・3

泰明小ホームページ <http://www.chuo-tky.ed.jp/taimei-es/>

中央区立泰明小学校 第296号
中央区銀座五丁目1-13
TEL 03(3571)1765
FAX 03(3571)0672

「結」

校長 和田 利次

フランス門に立っていると、朝の日差しの角度が高くなってきたことが分かります。季節は春に向かって確実に変わりつつあります。

さて、表題の「結」という漢字には、連結するという意味もあれば、終結する、終わるという意味もあります。まさに、3月がそういう時期です。現在の学年が終わる、そして、次学年に連結する一月です。これは、単に暦が進む、時間が経過するということだけではありません。現学年で身に付けるべきことを修めたか、もしそうでなければ、学び返しが進んでいるか、また、次学年での自分の課題は何か分かり、それらを克服するための心構えができてきているかなど、学校生活の来し方行く末を考える時でもあります。特に、6年生は、中学校というステージに立つための大切な準備期間です。6年間の積み上げがきちんとできているかを顧みる機会です。そのうえで、残りの小学校での時間を味わいながら過ごしてほしいと思います。

他の学年も、年度が変わり新しい環境でのスタートとなりますが、これまで培ってきた自分の力を信じて、また、これからの自分の成長を目指して、そして、泰明小学校の伝統を結んでいくのだという意識をもって学校生活を積極的に過ごしてほしいと願っています。

26年度泰明小学校教育活動にご理解ご協力を賜りまして本当にありがとうございました。

先日の泰明マラソン大会では、保護者の皆様に多数ボランティアとしてご支援いただきました。寒い中でしたが、子ども達を見守ってくださりまして、誠にありがとうございました。また全銀座会ははじめ、各町会の皆様にもご尽力を賜りました。泰明小学校は銀座の街の学校だなど改めて感じました。

紙面では意を尽くせませんが、心より御礼申し上げます。また、今後ともよろしく願いいたします。

すでにお聞き及びのことと存じますが、27年度より全学年進級時に学級編成替えを実施いたします。基本的に教育計画や学級経営の方針は単年度で策定されています。それは、当該学年での指導目標（児童にとっては学習目標）の設定やそのためのプロセスは単年度で考えるべきものであること、そして、人間関係等を固定化せず、編成された集団の中でコミュニケーション能力を高めることができること、また、学習活動が快活に展開されることなどの効果があるからです。新学期の始業式での児童へのお知らせについては学年だよりでお伝えします。

3月のカレンダー このマークはセカンドバッグ登校日です。

1	日		校庭開放
2	月	講話	委員会活動⑥（最終）
3	火	泰明読書	
4	水	泰明読書	安全指導 特別献立 同窓会オリエンテーション(6)①
5	木	感謝の式 (林先生)	朝有り掃除無し時程
6	金	6年生を送る会	お別れ給食
7	土		
8	日		校庭開放
9	月	講話	
10	火	泰明読書	地域巡回指導
11	水	泰明読書	金管コンサート
12	木	泰明読書	水曜時程 5時間授業(1~5) 保護者会(1~5)
13	金	感謝の式 (石川先生)	
14	土		
15	日		校庭開放
16	月	講話	
17	火	泰明読書	みゆき通り清掃
18	水	泰明読書	
19	木	泰明読書	オリンピック講演(3・4)
20	金	泰明読書	水曜時程 午前授業(1~3) 卒業式予行⑤⑥(4~6)
21	土		春分の日
22	日		
23	月	講話	給食終
24	火	泰明読書	卒業式(4~6)
25	水	修了式	水曜時程
26	木		春季休業始
27	金		
28	土		
29	日		
30	月		
31	火		

() は学年、○は実施する時間

校長相談日 3月9日(月)
9:00~14:00

学校の姿

泰明マラソン大会

体育委員会 熊坂 佳太郎

ロサンゼルスオリンピック元女子マラソン日本代表選手の増田明美さんのスタートの合図とともに、銀座の街を泰明小学校の児童が走り抜けました。姿勢よく腕を振り自分のペースを守って走る姿は力強く、日々の積み重ねの努力がこのような姿につながったと思います。

この日のために、児童はオリンピック2大会連続メダリストのエリック・ワイナイナさんとオリンピック現役トリアス選手の上野選手から上手な走り方を教えていただきました。学んだ走り方の「コツ」を生かして体育の学習や休み時間に繰り返し練習しました。完走した児童の感想文には「沿道の声援に励まされて完走できた。自信がついた。」「走ることが大好きになった。」と、ありました。今までの練習の成果を児童が発揮できた素晴らしい大会になりました。

泰明マラソンは、警察や地域の方々、PTAや保護者など、皆様の協力があって開催できた大会です。本当にありがとうございました。



元気な子ども

泰明キラキラキャンペーン

特別活動部 志田 稔

「私たちの泰明小学校をもっとよくしよう。そのためには、何が出来るか。」代表委員会の児童が考え、全校に呼びかける、それが泰明キラキラキャンペーンです。

今年度は、縦割り班に注目しました。毎日の清掃活動と一緒に活動していますが、一緒に遊ぶという機会はほとんどありません。そこで、子ども達の計画では、「学年を超えてみんなが仲良くなれるように」というねらいのもと、3月9日から11日までの三日間、縦割り班で休み時間に遊ぶということに決定しました。中休みに外で鬼ごっこをしたり、教室で工夫して遊んだりして、学年を超えてみんなで遊ぶことになっています。お互いの良さを発見し、認め合い、一人一人の思いやりの心が大きく育ってほしいと思います。

学校の窓

環境と子どもたち

生活指導主任 片桐 淑子

「おはようございます」立ち止まって、目を見て、元気に挨拶ができる子ども達。毎朝、フランス門での泰明小の姿です。

授業規律や規範意識の定着など、学校の授業や生活の中では子どもに身に付けなければならないことがたくさんあります。その中で特に「いけないことはいけない」という指導や「言語環境を整える」ことに重点を置き指導を進めてきました。言語環境については「いつでも、どこでも、誰とでも挨拶ができるように、穏やかで爽やかな言葉でコミュニケーションを図れるように」と繰り返し指導してきました。挨拶は相手の存在を認め、理解するための第一歩だと考えています。

様々な効果を上げていくために来年度も指導を充実していきたいと考えています。そのためにも周囲にいる大人たちが子どもにとってよい環境を意識してつくっていくことが大切です。

学校生活

1年間の保健活動

養護教諭 小美野 彩

今年度、保健室には1日平均20人、年間のべ2000人を超える児童が病気やケガなどで訪れました。小さな擦過傷から足首の捻挫、骨折、発熱、嘔吐などその理由は様々です。その中で保健室では自分の体を生理学的・解剖学的に考えさせ、自分の体や痛みに対して言葉で表現することを指導しています。自分の体について言語化することは、自分の体について知ることです。

年度当初はけがをした際、来室すると傷ついた部位を無言で差し出す児童も多くみられました。しかし、1年間のかかわりの中でいつ・どこが・どうして・どうなったのか、痛みはどれくらいの強さなのか説明できる児童が増えてきたように感じます。

今後も泰明小学校では本校の特色の一つである保健講話をはじめ、児童が体に興味をもち、考え、行動できる保健教育を行っていきます。



保健講話風景